



TITLE:

# 我國に於ける新ブルジョア階級の成立(二・完)

AUTHOR(S):

圓谷, 弘

---

CITATION:

圓谷, 弘. 我國に於ける新ブルジョア階級の成立(二・完). 經濟論叢  
1920, 10(1): 143-153

ISSUE DATE:

1920-01-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127608>

RIGHT:

# 京都帝國大學經濟學會 經濟論叢

第 十 卷      第 一 號

大正九年一月一日發行

## 論 說

温情主義と勞働問題……………

法學博士 田島 錦治

手數料決定上の二問題……………

法學博士 神戶 正雄

モリスの文明觀と藝術觀と勞働觀……………

法學博士 河田 嗣郎

所帶統計概説(二、完)……………

法學博士 財部 靜治

キヤナンの富の概念に就きて(一)……………

法學士 石川 興二

## 時事問題

智識階級の解散……………

法學博士 戸田 海市

朝鮮の財政獨立に就て……………

法學博士 小川 郷太郎

## 雜 錄

生活費の組織的研究の必要……………

法學博士 山本美越乃

判任官生活の實狀……………

法學士 沙見 三郎

獨逸大銀行の取引所仲立業に就きて……………

法學士 大森 研造

我國に於ける新ブルジョア階級の成立(二、完)……………

圓谷 弘

カンニンガム博士逝く……………

法學士 本庄榮治郎

京都帝國大學經濟學會第一回講演會記事……………

## 我國に於ける新ブール

### デヨア階級の成立 (二・完)

圓谷弘

#### (一) 士族の浮浪化 (續き)

さて、當時政府の當局に立ちしは大久保利通なり。彼れは「其實力を養ふ所以のもの他なし専ら殖産厚生の実務にある而已」と觀念し一國の興廢は産業の奈何にありこの見地より猛烈なる産業保護指導の政策を採り、十年戦争落着と共に、彼の保護政策は全力を産業に注げり。其の産業たるや、舊來の商にあらずして新なる資本主義的産業なり。彼の慧眼は此の新産業の開發には士族を用ふること適當ならめと看破し、直接に間接に彼等を指導獎勵するの策をとり

ぬ、今や舊商業に失敗せる士族は此處に新戰場を得て復活の氣運に向ひぬ。

元來資本主義的企業は舊き商工業とは其の形態を異にするものなり。彼の武士が職せし戦争は、其の企畫的なる點に於て近世企業の性質と通する所有り。彼等武士の心裡に知らず／＼に育くまれし計畫的打算的企圖は、以て近世資本主義的産業に移して用ふるに足るものあり。

江戸時代三百年の泰平とは云へ、此の企畫は封建時代すでに産業界に應用されしものにして、

八代將軍吉宗に依りて産業は特に奨励されたる結果、各地大名は自己領内の産業發展に眼を注ぎ、豫ねて營みし鑛山の採掘機械業等は一の資本主義的に計營せしものにして、彼等武士は實際に於て此等の企業に接し居りしものなり。只異なる所は自足的にして發展のならざりし點にあり。げに我國綿紡績業の嚆矢は島津家の經營に始るが如き其の一側なり。

要するに資本主義的企業は彼等町人には適せず、寧ろ武士は傳統的訓練に於て其の素地を有

し、其の文化的教養に於て資本主義的企業に順應するの基礎を與へられ居れり。而して今や政府は此の素地ある士族の指導保護に於て新産業の發展を圖ることとなり、舊商業に失敗せる彼等武士には一陽來復の機となりぬ。

かの岩崎の如きは全く一の新ブルジョア階級發達史上の代表的のものにして、且士族實業家の典型なり。今例を岩崎(三菱)に見んか。明治十四年度に於ける農商務本省の豫算表に、

本省豫算總計 四百八十三萬

三菱會社助成金 三百〇〇〇 (田口卯吉、續經濟策)

にして本省豫算の半分以上を占め居るなり。之れより思惟しても當時奈何に猛烈なる保護を以て士族の資本主義産業へと誘導せしかを知るに足る、

政府の指導は士族の男子のみにあらずして女子に迄及べり。政府は製絲の統一改良を企て、模範的工場として富岡製絲場を設け、且つ各縣より製絲工女を募集して其の業を修めしめ、之を各府縣に分布したり。此際政府は此等の工女

を大概士族の子女より選拔せしものにして「皆國家奉公の志を抱きて郷關を出で、其の數は實に千を以て算するに至れり。後年地方製絲の業大に改良せられ今日の盛況を見る」（勝田係關氏著大久保利通傳）の基を開きしなり。

政府には大久保の保護あり、民間には福澤の精神的激勵あり、加ふるに澁澤の指導的企畫と相待つに於て、彼等は皆な順潮に棹し、商に工に郷關を去りて實業へと向ひぬ。而も武士が舊幕時代に於て實業に對して有せし倫理觀即ち實業賤視の思想は外國思潮の影響によりて漸次消磨するに至り、且つ政府の獎勵は彼等をして「國家の爲め」てふ強烈なる愛國の至情を喚起せしめ彼等は此觀念によりて醇化せられ喜び勇んで實業界へと向ひしなり。かくて侮蔑されし士族の商法は此處に新天地を得て復活し、我國に資本主義産業の基礎を造りたり。彼等の中より岩崎の如き五代の如き藤田の如き成功者を出し茲に新ブルジョアの出現を見、かくして次の教育ある産業階級への過渡的階段を造りぬ。

今之れに付き「士族の商業」（宇田川文海氏著。明治二十四年四月大阪にて）をして語らしめよ。

「今日我國の商工業世界を見るに、新聞印刷蠶絲製茶鐵山汽船等の事業は、概れ士族流の人の手に成て、從來の商人は手を其間に下し得ない様な譯で、（中略）士族の商人は從來の商人に比較べたら、人數は少いかも知れませんが其勢力に至つては或は從來の商人社會を壓倒して居るかも知れません。何故と申せば、當今世上に數の多い銀行會社社會所商行などの重要な位置を占め居る者は士族ですから云々」

前述士族の浮浪の大勢を暗示するものは士族の大都市集中の傾向の移しき事なり。

年次	六大都市所在府縣の土族人口總數	土族の移住人口數六大都市所在の府縣へ
明治一六	一九、八二三	〇六六都市所在府縣とは即ち東京府大阪府京都府愛知縣、神奈川縣、兵庫縣なり
同 二一	一八、九四五	
同 二六	一九、四四〇	
同 三一	二四、八六〇	
同 三六	三三、八六〇	

以上の表に現る、六大都市所在の府縣への士族の移住は、蓋然的なるも都市集中に外ならずと推するを得るなり。蓋し彼等は農に就かずに

工商に就きたればなり。余は浮浪せし士族の凡てが成功せりと云はず、否な成功せしは彼等の一部のみ。然も此の一部こそ資本主義産業の移植に向つて大なる功績を擧ぐるを得て資本主義企業の先驅者たりし者なり。實に新ブルジョアは先づ彼等によりて構成されぬ。

註「廢藩後の支給額を以て、維新後の支給額に比すれば百分の三十四半強を減少せり。維新後賞典錄の増加ありと雖も各藩皆勉めて士卒の給録を削りたるを以て此減少を致したるなり。即士族等の家録のみを以て前後比較するに減すること百分の四十三半強に當る云々」(指原安三輯、明治政史八八六頁)

又曰く「秩祿公債證書發行の目的は、華士族卒へ農工商營業の自由を許可し、彼等をして力食の途に就かしめんが爲め其資金を供給するにあり。……而して彼輩多くは資力の以て典産の業に充つへきなし、是を以て彼等中其家祿を奉還し資を茲に得んと欲する者少からず、廟議も亦之を可とし、永世祿は六ヶ年終身祿は四ヶ年分を合計し、其高の半は公債證書半は現金とし之を彼等に交付するの議を定め、昨年十二月第四百二十五號布告を以て家祿奉還の議を決定し、尋て同月大政官第四百二十六號達を以て家祿奉還の者へ資金被下規則なるものを發布し、次て本年三月二十八日第三十九號布告を以て、家祿引換公債證書發行條例を制定

第十卷 (第一號一四六) 一四六

せらる。是に於て其條例に依り、本年より明年に亘り家祿奉還を出願せし者其人員十三萬五千八百八十三人(士族百五十餘萬人(明)にして之に交付の公債證書は、一千六百五十六萬五千八百圓現金交付の高千九百三十二萬六千八百二十九圓餘に達せり。然るに奉還者中政府誘導の趣旨を辨せず、目前の法利に迷ひ一跌目的を失ひ業起らずして祿に離れ彷徨流離の慘狀を呈し到底就産の目的なく、就中東京府北條縣の如きは其弊最も甚しく、家祿奉還の事、當時の得策にあらざるの事實を示し、廟議遂に之が停止の事に決し、八年七月大政官第四百二十五號達を以て、爾來其奉還の事を停止せられたり。然とも其發布前既に奉還請願せしものあり、故に九年に至り尙ほ僅々の證書發行と現金の交付を要せり。是を以て其七年より九年に亘り證書發行額一千六百五十六萬五千八百圓、現金交付高一千九百三十二萬六千八百二十九圓七十八錢五厘なり。(現金交付高の證書額に超過するは現金交付高の内に證書額二十五圓未満の端數現金多きを以てなり)而して右現金高千七百七十一萬二千圓は明治六年英國倫敦に於て募集せし外國新公債の資金を以て之を支拂ひ、其他七百六十一萬四千八百二十九圓餘は他の收入を以て支拂へり」(同書六六六頁一六六七頁)。

(二) 知識階級の産業化

世人よく曰ふ「我實業界は慶應帝大高商三派の鼎立なり」と。方今政界尙藩閥の餘臭殘存す

るの際、實業界は早や學閥の成立を見るに至る。之れ既に實業界の、政界よりも、より早く進みたる事を物語ると共に、此の役員間に於ける學閥存在の事實より遡及し推察するに、我現新ブルヂョア階級は既に學校出身者―知識階級―によりて構成され居ることを蓋然的に證し居るものなり。何となれば感情の所有者なる人は同類意識の下に一の社會圈を生み出せしものにして學閥の如き即ち此一の社會圈に過ぎればなり。

我國の新産業は算盤を重せし町人の力に依りて開かる可き運命を有せしが如く見えしにかゝわらず、昔日最も算盤を蔑視せし武士によりて計畵せられ士族は幾多の困難を犯して資本主義的經營を遂行し、以て次に來りし産業の中心たる學校出身者への過渡的階段をなして其の任を果せり。

抑も新産業は舊産業と其の性質を異にし、學識有る者にあらざれば完全に之を經營すること能はざるものにして、此の意味に於て新ブルヂョアの中心は教育ある學校出身者によりて成

立すべきものなり。而して事實は現に見るが如く、新ブルヂョアの中心は知識階級の産業化によりて形成さる。たとへ一二の例外あり、又舊ブルヂョア三井の如き其の傳統的勢力を維持し發達しつゝあるを見るも、之れとて其の活動の内部分子を解剖するときは、其處には新産業は幾多の教養ある學校出身者によりて經營せられつゝあるを認むべし。之を以て見るに我新ブルヂョアは士族より學校出身者への推移を経たるものにして、而も其の學校出身者は士族の子弟によりて始り、次に教育の普及によりて出身階級の平等化を見るに至れるものなり。

我國に資産者統計無きが故、詳細に分析して論述することを得ざるの恨あるも、余は我現實業界の役員階級に三學派鼎立の事實あるを認め、之より遡及し考察することによりて我新ブルヂョア構成の人的要素を三學派に還元し觀念することの、必しも誤りにあらざるべきを信するものなり。蓋し我新ブルヂョア階級は例外なきにあらざるも、殆んど其の大部は學校出

身者により構成せられ、又せられつゝあるの事實を認るを以てなり。故に學校出身者中の主要系統たる此の三學派の人才を研究することは、即ち新ブルジョアの人的構成要素を研究する上に簡便にして且つ適當なる方法たるべきなり。

(A) 慶應圈、我國現代に於ける一流の實業家の過半が慶應義塾の出身者なる事實を目睹し、之れより考ふるときは、慶應が我國の文化史上産業史上に於て重要な役目を演じたるの事實を認めざるを得ず。

抑も慶應義塾は文久三年一家塾より發芽せるなり。その設立者は當時に於ける新文明の權化たる福澤翁なり。彼は我國新時代の指導者として深き自覺と強き自信とを有せり。時は腥風血雨砲聲殷々たる上野戦争の際、翁は悠然として學生にウェーランドの經濟書を講じつゝ、「<sup>エンゲル</sup>兒戲に類す」として顧ざりし挿話の如きは、翁の如何に時流に超越したるかを雄辯に物語るものにして、實に我國は此の文化變轉期に於て福澤翁

を有せし事に對し多大の感謝を獻げざるべからず。此の時に際し翁は醇々として學生を教え倦む事なく、而も其の學たるや泰西の新學を以てし、殊に經濟學を講じ以て學生をして資本主義産業に順應し發展するの素質と力とを與へたり。

明治の初年に於て活動の舞臺に立ちし士族は泰西思想の輸入に依りて資本主義的精神に導かれしと雖も、彼等の幼時の教育は、産業を賤める舊思想に基きたるものにして、彼等の思想は之によりて養成せられたれば、壯年以後に於て傳へられたる泰西思想も、彼等の血液と化する迄には至らざりき。然るに此の塾の學生は、未だ年少客氣の際に於て一代の偉人福澤翁の膝下に教育されしを以て、彼等は實に其の骨髓に徹して新文明圈内に活動する素地を與へられたり。

始め入學の學生は多く士族の子弟にして、其の入學數を見るに「文久三年より明治四年迄の慶應義塾人社總數千三百二十九人のうち平民の



子弟僅かに四十人（山路愛山氏著現代金權史。慶應義塾  
迄は千三百二）にして此の塾の修業者の多くは始  
め精神上の職業を求めて之れに就けり。されど

之も漸次充滿して餘地を残さざるに至るや、猶

は「我輩の所謂實業の春色來復の徴なり」と叫び  
「實業論」（明治  
二六年）一片を草し、彼の教え子に對

して、汝等の活動の天地は彼岸にありと指示し  
ぬ。曰く、

「實業は常に獨立するのみならず、社會全般の原動力となり  
て政治方針をも左右するの勢を成すは我輩の信じて疑はざる  
所なり云々」

又曰く、

「折柄偶々帝國議會の開設に遭ひ人民に參政の權を得たるこ  
そ幸なれ、今後實業社會の發達と共に其社會より有爲の代議  
士を出して自家の利益を謀り、苟も政府にして従前の筆法に  
従ひ差圖がましき民衆を妨るが如きことあらんには、之に反  
對して政府を動かすに難からず、金力の向ふ所敵なきは文明  
自然の勢なり。」云々、

以て彼の金權謳歌、來るべきブルジョア文明  
を豫言したる彼の偉大なる識見や仰ぎ見るべき  
ものあり。かくして彼の子弟は初期の出身者の

政界に活動せし例外を除けば、他は殆んど凡て  
實業界へと志し、而も其曠野は未だなほ開拓さ

れず、只政府の保護によりて士族が過渡期の橋  
梁として存したるのみ。故に教育を受けし慶應

出身の新人材は人無き沃野に思ふまゝ活躍をな  
し、現に見るが如く實業界における成功の月桂

冠は遂に彼等の手中に收められ、新ブルジョ  
アの最も有力なる構成要素として又ブルジョ

ア文化の基礎的勢力として現はるゝに至れり。  
要するに此の塾は、我國の新産業の移植と建

設とに付き、新ブルジョアの構成に付き將又  
ブルジョア階級をして現代の支配階級たらし

むるに於てあづかつて力有りしもの也。實に此  
の塾の出身者によりてブルジョア文化の基礎

が固められたりと云ふも亦過言にあらず。げに  
今日見るが如く、新ブルジョアの過半が彼等

によりて占領せらるゝの現象も、かゝる歴史の  
當然の歸結と云ふべきなり。

(B) 高商圏、茲に高商圏とは東京商業學校を先  
驅とし全國の高商を包含し概稱するなり。而も

新ブルジョアの構成に與りしは主として東京高商なり。故に今この學校を研究するによりて此の圈を概觀するは適當なる方法といふを得む。

抑も本校は明治八年かの極端なる歐化主義者たりし森有禮氏により私設されし商法講習所に濫觴す。翌九年東京府立となり、十七年農商務省の直轄學校となり、十八年支部省に移りて東京高等商業學校となり、依て其の基礎を確立せられたり。而して此の校卒業生が新産業の指導者となり實業社會に其の強固なる基礎を確立するに至りしは、時勢の然らしむる所なりとはいへ、之を澁澤翁の指導に待たざれば、よく果して今日あるを得たるや疑問なり。

澁澤翁は、明治十二年以來本校に關係を有するものにして、彼の傳記は實に我國新ブルジョア發達の表現をなすものなり。翁は始め武士階級の中より身を起せしも考ふらく、

「然ら將來日本の經濟を考察してみるに、此の末政府に於て如何程心を碎き力を盡して、貨幣法を定め租稅率を改正し會

社法又は合本の組織を設け興業殖産の世話があつたまで、今日の商人では到底日本の商工業を改良進歩させることは成し能はぬであらふ。就ては此の際自身は官途を退いて一番身を商業に委ね、不及ながら卒先して此の不振の商權を作興し、日本將來の商業に一大進歩を與へようといふ志望を起し云云」(青淵先生六十年史)。

乃ち翁は顯官の地位を捨て、身を實業界に投し、親しく我國産業の發展を計りたるものにして、現存の我産業にて澁澤翁の手に係らざるもの稀なるの有様なり。今福澤翁と澁澤翁とを比するに彼は社會の指導人才の供給を爲したるに反し、此は自ら産業の内に身を投じて、今日有るがまゝの産業發展に大なる努力を爲したるなり。故に彼の傳記は即ち一の明治産業發展史なりと云ひ得べきなり。

澁澤翁實業界に出づるや「舊來卑屈の風」を存せし在來の町人は以て新産業に用ふるに足らずと考へ、之れを當時の學校出身者に求む。而も當時商業教育に關係ありし學校は、大學南校慶應及此の高商の前身あるのみ。大學出身者は官途に就くに之れ忙はしく、慶應出身者は彼等

の先輩により開拓せられし領域に進む。時恰もよし。翁は高商に關係を生じたり。澁澤翁は實に此の高商出身者の指導者となり、彼等の爲め進むべき道を開きて其の活躍の天地を與へたり。されば彼の成功史は、半面に於て高商出身者の榮譽の歴史にして、彼等の產業界に出たるは、慶應より時期の遅れしたため三田系の如く實業界の巨頭を有せざれども、今や第一回の出身者を出してより己に四十餘年(明治十年始めて卒業生を出す)の星霜を重ね、幾多の人才を實業界に供給したり。當時產業界に人物稀なるの時、本校出身者の如き新知識が、進んで實業界に入り、而も其の修めたる學たるや資本主義的企業の知識を以てす。實に彼等の産業化は、我國産業發展史上其の寄與の大なるものあるを認めざるを得ず。今や高商の卒業生は現代新ブルジョアの活動の中堅となり来る可き新ブルジョアの構成要素として前途刮目すべきものあり。かの大正の巨豪久原房之助氏の如き、實に本校の出身なり。今や高商圏は、實業界の一半を占領して三田と

大學に拮抗しまさに其の覇權を覬覦するの狀にあり。

(C)、大學圏、帝國大學を總括す。東京帝國大學は其の創立古く、明治二年既に大學南校と稱し、明治十一年は既に成期の學を修めたる卒業生を出し居るなり。されど大學は官尊民卑の潮流の中に漂ひ、政府の需要のまに／＼殆んど皆官界へと向ひぬ。されば產業界に入りし者の如きは、其の中の特種の志望者に過ぎざりしなり。殊に山縣内閣に於いて、高等文官試験の關門を設けて獵官運動を禁するや、官界は實に大學出身者の登龍門たるの觀あり。之れ官界に相當の成功者を見たる所以なり。されど官界とて需要無限にあらず、漸次行き詰るにつれ始めて實業界へと歩を轉ずるに至りしなり。されば本學卒業生にして實業界に赴きは、所謂官界より天降りし者が多數にして、卒業後直に實業界に飛込むが如きは實に近時の現象たるなり。かくの如きの狀態なるが故に大學より實業界への歸向は、前記の二校より遅れたれば、現實

業界の巨頭中に大學出身者甚だ多からざるは止むを得ざる所なり。されど近時晩れ走せながらも、其の勢力を發展し、漸次驕足を伸し、實業界に大學圈の出現を見るに至れり。茲に注意すべきは、此の最高學府出身者の産業化は、世人をして官尊民卑の思想より離脱せしめ、新ブルジョア階級を潤色したる功績甚だ大なるものあることは是れなり。

殊に大學に於て看過すべからざるは、此の學園より多くの技術者を實業界へ供給したる事にして、之等の中、企業之才ある者は、工業發展と共に其の地位昂上し、新ブルジョアと成りしものあり、加ふるに大學の新ブルジョア階級に圖らずも貢獻したるは、大學が文科理科等の卒業生を出せしことによりてブルジョア文化の實質を向上せしむる上に於て、寄與する所大なりしことは是れなり。

今東京京都兩帝國大學卒業生を官吏對實業の職業別に表示すれば、

年次	官吏(行政司法及技術員)	實業(銀行會社及其等技術員)	全卒業生總數
明治三六	一、八五三	七、六	九、四八三
同 四一	三、三三五	一、四	八、〇〇〇
大正 二	三、八六三	三、七	一、四、五七六
同 六	四、四七五	五、九七四	一〇、四四九

(文部省年報に依り算出す)

以上の表に見ゆるが如く、明治三十六年度は實業と官途との比は殆ど一と二との比例にあるの、大正六年に於ては既に官吏の數を超過するに至れるを見るの有様にして、此の傾向は來る可きブルジョア階級の勢力が如何なる社會的勢力となるべきかを暗示するものなり。

× × × × × ×

之れを要するに、我新ブルジョア階級の人的構成要素は、徳川時代に勃興し來りし町人階級の手によりて之を供給すべき歴史の發展過程にありしにかゝらず、外的勢力に導かれて産業革命を成就せし結果は、此處に政治界と等しく新産業開發の端緒も亦士族の手に握られ、新産業は彼等によりて基礎付けられ彼等はその過

渡期に於ける産業界の中堅となり、以て次に來りし教育ある新人物へと推移せしものなり。實に教養ありし士族乃至は知識階級の産業化によりて企業階級の出現を見、資本主義産業の發展となり、彼等をして新ブルジョア階級の構成要素たらしめ我國經濟界の資本主義化の大勢を助成し、新ブルジョア階級をして漸次新時代の支配階級たるの地位に就かしむるに至りしものなり。